

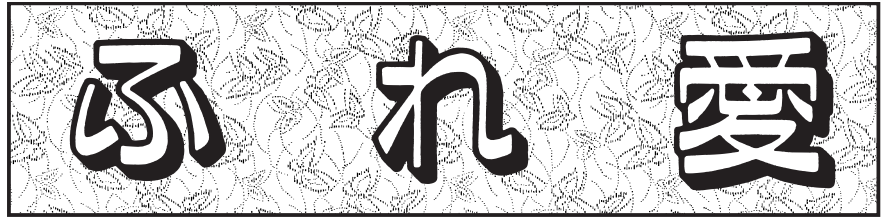
# 公衆衛生だより

No.11

発行

(財)長野市保健医療公社  
TEL 295 - 1199

同公社は、市民病院の運営管理、並びに市民の健康増進に寄与することを目的として長野市と長野市医師会等が設立した財団法人です。



## 健康が一番

# 地域の中核病院として 五周年を迎えます

三大生活習慣病を主体とする高度で最先端の医療を行う地域の中核病院として平成七年六月一日に開院いたしました市民病院は、関係各位のご支援ご協力をいただきながら、温もりと安らぎを感じていただける病院として、三百床・十八診療科に充実をし、五周年を迎えます。

利用者の利便性向上のため、患者の皆様を始め地元住民の皆様のご理解とご協力をいただき、診療を行いながら実施してまいりました診察室、処置室及び手術室等の増築も順調に進み、四月には全ての部門で供用を開始いたします。

開院五周年を迎え、多様化・複雑化する医療需要に対応するため、診療体制のさらなる充実を図るとともに、他の病院や診療所との連携を深めつつ、地域住民の信頼と期待にこえるよう職員一同より一層努力してまいります。



花壇の手入れをするボランティアの皆さん



衛生材料づくりをするボランティアの皆さん

### 市民公開講座開催のお知らせ

開院五周年を記念して、日本消化器学会甲信越支部との共催により「胃腸、肝臓を大切にしよう」をテーマに市民公開講座を左記のとおり開催します。

日時 六月十八日(日) 午後二時～午後五時

場所 若里市民文化ホール(ビックハット隣)  
長野市若里三丁目二十二番二号

講演 演題『胃腸、大腸癌から身を守る』  
講師 信州大学医学診療部助教授

演題『肝臓病から身を守る』  
講師 新潟大学名誉教授

赤松泰次 先生  
市田文弘 先生

形式 講演、質疑応答、健康相談  
受講料 無料

### \*ボランティア に支えられて\*

地域に根ざし「開かれた温かい病院」づくりに貢献することを目的に平成六年八月に設立された「はづきの会」(中沢友枝会長・会員百二十一名)や個人ボランティア(十一名)の方々により、開院当初から行われている患者さんへの受付案内や介護補助、院内外の環境美化、衛生材料づくり、折り紙教室などのボランティア活動が病院の発展に大きな力となっています。

### 医師異動のお知らせ

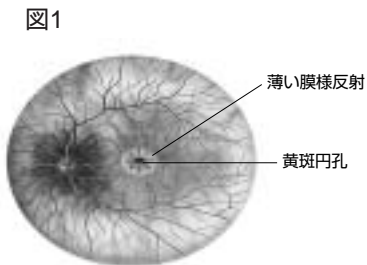
平成十一年四月以降に交替あるいは新任により新たに着任した医師は次のとおりです。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 内科 岡田 和義  | 内科 西澤 夏子    |
| 小児科 田村 秋穂 | 外科 花岡 孝臣    |
| 外科 市川 米澤  | 眼科 中山 博文    |
| 泌尿器科 齊木 剛 | 皮膚科 鬼頭 剛    |
| 麻酔科 早藤 昌樹 | 麻酔科 菱沼 典正   |
| 麻酔科 菱沼 典正 | 臨床病理科 保坂 典子 |

# 知っておきたい ミニ知識

## 特発性黄斑円孔

特発性黄斑円孔は、眼底中心部に孔があく病気で、従来治療法がない疾患とされてきました。しかし、1980年代後半に、黄斑円孔の前段階である切迫黄斑円孔について明らかになった後、1990年代前半に切迫黄斑円孔及び全層黄斑円孔に対する硝子体の手術方法が相次いで確立されたため、黄斑円孔は手術によって治療することが可能な疾患となりました(図1)。



全層黄斑円孔の頻度は、日本の報告では五千人に一人とされていますが、米国では55歳以上の三百人に一人が罹患している

と推定されています。これは55歳以上における視力障害の原因としては、糖尿病性網膜症や緑内障に匹敵する頻度とされています。患者の80%が女性で、平均年齢は65〜70歳と比較的高齢の方が多いようです。

両眼性の頻度は報告に幅はあるものの、約10%と考えられています。

### 症状

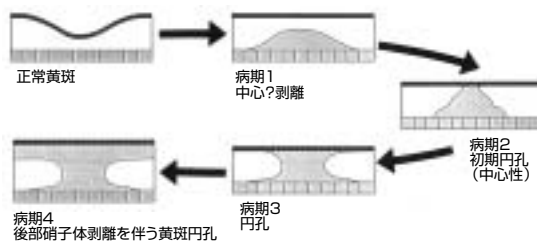
初期には、物がゆがんで見える変視症、中心が暗くなる比較暗点と視力の低下を自覚するようになります。症状が進んで全層黄斑円孔が形成されると、視野が狭くなる絶対暗点を自覚するようになり、視力は0.3〜0.1に低下します。

### 原因

原因は、詳しくは解明されていませんが、物を見る中心である中心窩領域で、硝子体の後部の剥離が発生し、その時に網膜の中心が引っ張られるために、嚢胞状の変化が生じ、ついには全層黄斑円孔にいたるとされています。

黄斑円孔の形成過程と

図2



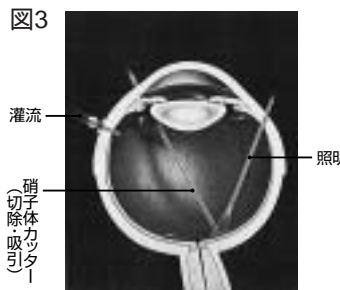
して、「ステージ」(stage)分類があります(図2)。前述のように黄斑円孔は、後部硝子体が引っ張られることにより発生し、症状が進行するにつれてステージがすすみ、視力の回復も難しくなります。

### 治療

全層黄斑円孔の場合、陳旧性(古くなった状態)である場合を除き、原則として硝子体の手術を行います(図3)。

基本的な手術の方法は、有形硝子体を切除し、完全な後部硝子体剥離がない場合には、人工的に作成した後、黄斑円孔の周りの微細な網膜内境界膜を可能な限り剥離し、特

図3



殊なガスを眼内に充填します。手術後は約10日間はずつ伏せの姿勢をとることが必要となるので、食事モトイレもつつ伏せのまま行うこととなります(図4)。



図4 術後の注意点  
手術中に眼内にガスを入れる場合があります。その場合は術後うつ伏せ(横臥位)により安静を保ちます。

### 成績

自覚症状が出てから6カ月以内に手術を行うと、約80%で黄斑円孔が閉鎖し、約70%で視力の向上が認められ、そのうち約40%で0.5以上の視力が得られるとされています。手術が成功すると視力が向上する理由としては、

- (1) 年齢が65歳以下であること。
- (2) 手術前視力が0.2以上であること。
- (3) 円孔の径が0.3乳頭径以下であること。
- (4) 中心感度がハンフリ―視野計で20dB以上であること。

### まとめ

黄斑円孔は早期に手術をすれば良好な視力を回復できる可能性がある疾患です。

眼科医長 永田 征士

## 院長の助言

### 青少年の食事が危ない!

最近日本社会は飽食の時代と言われていますが、その豊かさの中で、青少年の食事が大変貧困であることが過日NHKのクローズアップ現代で詳細に報告され、警鐘が鳴らされています。朝食抜き、或いはパンとコーヒーだけ、昼はラーメン、夜はスパゲッティがカレライス。学校給食も家でも好きな物しか食べない。体の免疫力、抵抗力の低下、ホルモンバランスの崩れやビタミン摂取量の不足が心配されます。

最近、肺結核が再び増加し厚生省から緊急対策が発表されましたが、その中で若者の発病者も少なくないのはこのような食事内容の貧しさのため、に感染から発病を容易にしている可能性もあり、憂慮されます。世のお母さん方、青少年の食事は異々もご用心を。

院長 古田 精市